



ヨシの活用

学習のねらい

- ヨシが滋賀県の人々の生活に活用されてきたことに興味・関心をもつことができる。
- ヨシ群落の減少と琵琶湖の水質の変化に注目し、ヨシの水質浄化作用に気づくことができる。
- ヨシが生き物のすみかとして役割を果たしていることに気づくことができる。
- ヨシをはじめとした琵琶湖の自然環境を守るために、琵琶湖とどのようにかかわっていくのか考えることができる。

準備物

うみのこ船内で準備できるもの

- ・カッターナイフ（100本）
- ・ヨシ学習パネル
- ・はさみ（50本）
- ・スクリーン
- ・工作マットB4サイズ（240枚）
- ・プロジェクター
- ・パソコン（[「ヨシ学習教材」スライド資料](#)）

乗船校で準備するもの

- ・マジック
- ・セロハンテープ
- ・薄いプラスチックシート（OHPシート等）
- ・ヨシ（太い部分）
- ※ヨシを購入する場合は、フローティングスクールに相談

主な学習の流れ

ポイント（○）及び留意点（☆）

はじめ	1. 本学習のめあてを確認する。 2. ヨシの水質浄化作用や生き物の棲み処としての役割について知る。	○フローティングスクールのテーマとのつながりを意識して示す。 ☆ヨシの学習パネルや 「ヨシ学習教材」スライド資料 を利用することもできる。
なか	3. ヨシを使った工作を行う。 4. ヨシが人々の生活にどのように使われてきたかを知る。	☆カッターナイフの安全な使い方の指導を徹底する。 ○ヨシの硬さや風合いを感じられるように、実物のヨシに触れることを大切にする。 ○ヨシが滋賀県の人々の生活に深く関わってきたことに気づけるように、ヨシが利用されている道具などを紹介する。
おわり	5. 本学習のまとめをする。	○フローティングスクールのテーマとのつながりを意識してまとめができるようにする。 ○学習のまとめや航海後の学習につながるようにする。

（※1）活動場所・・・多目的室もしくは活動室

（※2）実施時期・・・通年

※うみのこ船内で準備できるものについては、児童・指導者の人数や班の数に合わせて準備することもできます。